

弘前市立郷土文学館 開館記念イベント

# 無料開館

\*郷土文学館は平成2年(1990)7月1日に開館しました。

令和8年7月1日(水)、4日(土)、5日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

## 第50回企画展

『壁の花』直木賞受賞70年  
今官一 - わが友 太宰治

(令和9年3月21日まで)

太宰治が第一創作集『晩年』(昭和11年)を今官一に贈る際、「誠実、花咲いては、愛情」ではじまる献辞を認(した)ためました。それに添えた手紙に書かれた「君自身、太宰なのだから」というフレーズは、官一への絶対的な信頼を伺わせます。また、空襲が激しい戦争末期、海軍に召集された官一から預かった原稿を、太宰が戦火をくぐり抜け三鷹、甲府、金木と「後生大事に」に持ち歩き、死守したというエピソードも伝えられています。

## スポット企画展

写真でたどる太宰治『津軽』

(令和8年7月6日まで)

太宰治の小説『津軽』は、太平洋戦争末期の昭和19年、太宰が約三週間をかけて津軽半島を巡る旅の中で、ふるさとを再発見し「津軽人」としての自己を探しあてる物語です。太宰ならではの視点で書かれた心に響く名文と、現地の美しい風景写真で小説『津軽』の舞台をたどり、改めてその魅力に迫ります。

太宰の親友・伊馬春部(作家・劇作家)が、昭和31年に撮影した龍飛・十三湖などの写真も特別に展示します。

## 《ラウンジのひととき》

「太宰治の翻案作品ドラマリーディング」

出演:声優劇団 津軽カタリスト

日時:7/4(土)午後2時～3時

場所:弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ

定員:25名程度(要事前申込/先着順)

参加料:無料

申込:6/4(木)以降に、窓口もしくは電話にて。

## 〈ワークショップ〉

「一コマで伝わる!一コマ漫画の描き方」

山田スイッチさん(コラムニスト・イラストレーター)を講師に迎え、イラスト教室を行います。

日時:7/5(日)午後2時～

場所:弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ

定員:10名程度(要事前申込/先着順)

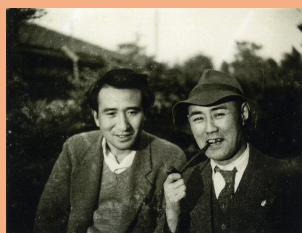
ご持参いただくもの:書きやすいペン

参加料:無料

申込:6/4(木)以降に、窓口もしくは電話にて。

企画展ポスターで記念写真を撮ろう!

昭和22年に親友の伊馬春部によって撮影された、今官一と太宰治の貴重なツーショット写真と一緒に、来館記念の写真撮影をしよう!



撮影:伊馬春部

- ・文学館クイズラリー
- ・今官一&太宰治  
歴代ポスター展
- ・歴代企画展スタンプ展

のコーナーもあります。

お楽しみに♪



クイズラリー景品(なくなり次第終了)  
郷土文学館オリジナルキーホルダー

弘前市立郷土文学館 ☎0172-37-5505



郷土文学館  
公式WEBサイト